

果樹を加害するチャバネアオカメムシの発生が多い状況です

今後、果樹園内へのカメムシ類の飛来に注意してください

[発生状況]

- ① 本年 2 月中旬に県内 42 地点で行ったチャバネアオカメムシ成虫の越冬調査では、越冬数（本年値 2.1 頭、平年値 2.3 頭）は平年並、越冬地点率（本年値 55%、平年値 41%）は平年並～やや高い。
- ② 5 月第 2 半旬現在、かすみがうら市の果樹園内に設置した予察灯へのチャバネアオカメムシの誘殺数は平年より多い（図 1）。
- ③ 5 月中旬現在、サクラ果実におけるチャバネアオカメムシの生息数は平年より少なく、吸汁果率は平年よりやや高い（図 2）。

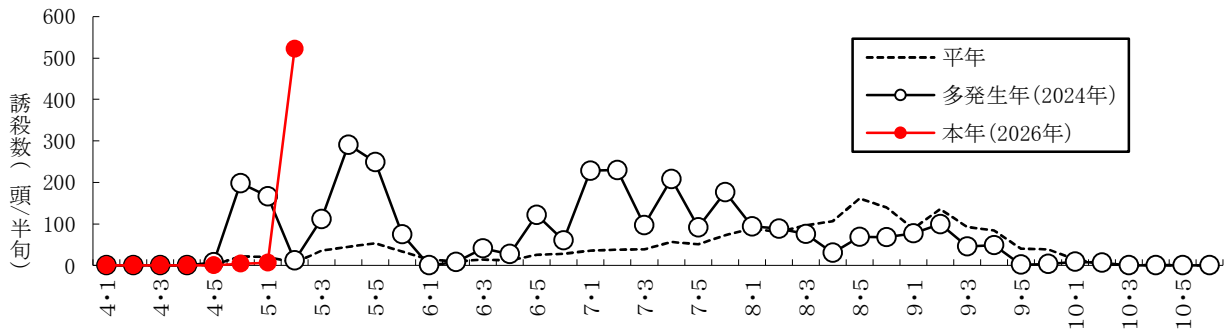


図 1 チャバネアオカメムシの予察灯への誘殺数（かすみがうら市）（月・半旬）

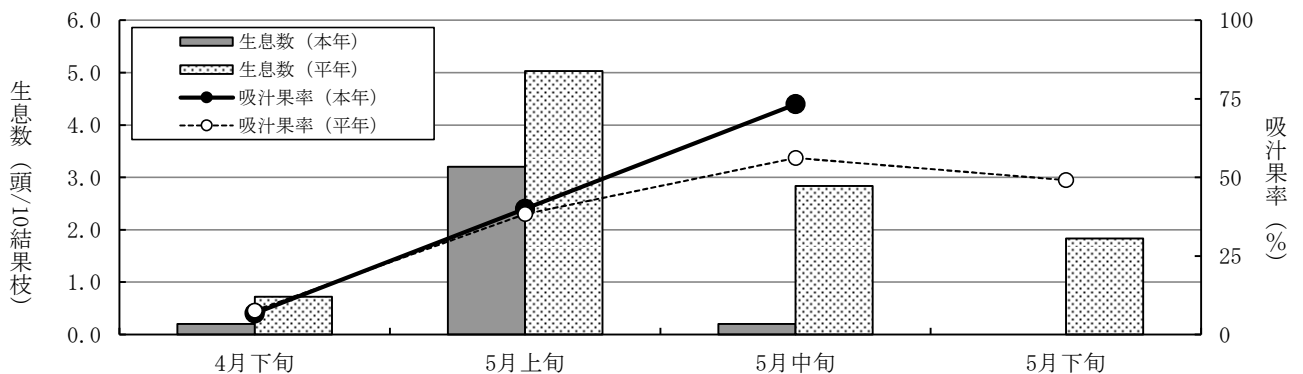


図 2 サクラ樹におけるチャバネアオカメムシの生息数^{※1}および吸汁果率^{※2}（笠間市）

※1 ビーチング法によりサクラ 10 結果枝から得られた成虫数

※2 採集したサクラ果実 30 個中、カメムシの吸汁痕がある果実の割合

[防除上注意すべき事項]

- ① カメムシ類の園内への侵入を防ぐため、多目的防災網やサイドネットに破れがないか点検を行う。
- ② 夜温が高いと活動が盛んになり、果樹園への飛来が増加するので注意する。
- ③ 果樹園内でカメムシ類を確認した場合は、果樹病害虫参考防除例等を参考に活動の鈍い早朝に薬剤防除を行う。